

しかおい 議会だより

第158号

令和5年度予算 ②

3月定例議会 ④

各委員会所管事務調査報告 ⑤

クローズアップ2023・予算 ⑦

一般質問 4人の議員が問う ⑧

The 予算・質疑 ⑩

ぎかいトピックス ⑫

笹川小学校卒業式

撮影者 清水 浩徳

3月24日、笹川小学校の卒業式が行われ、卒業生2人の巣立ちを祝福しました。

■2023（令和5）年4月25日発行

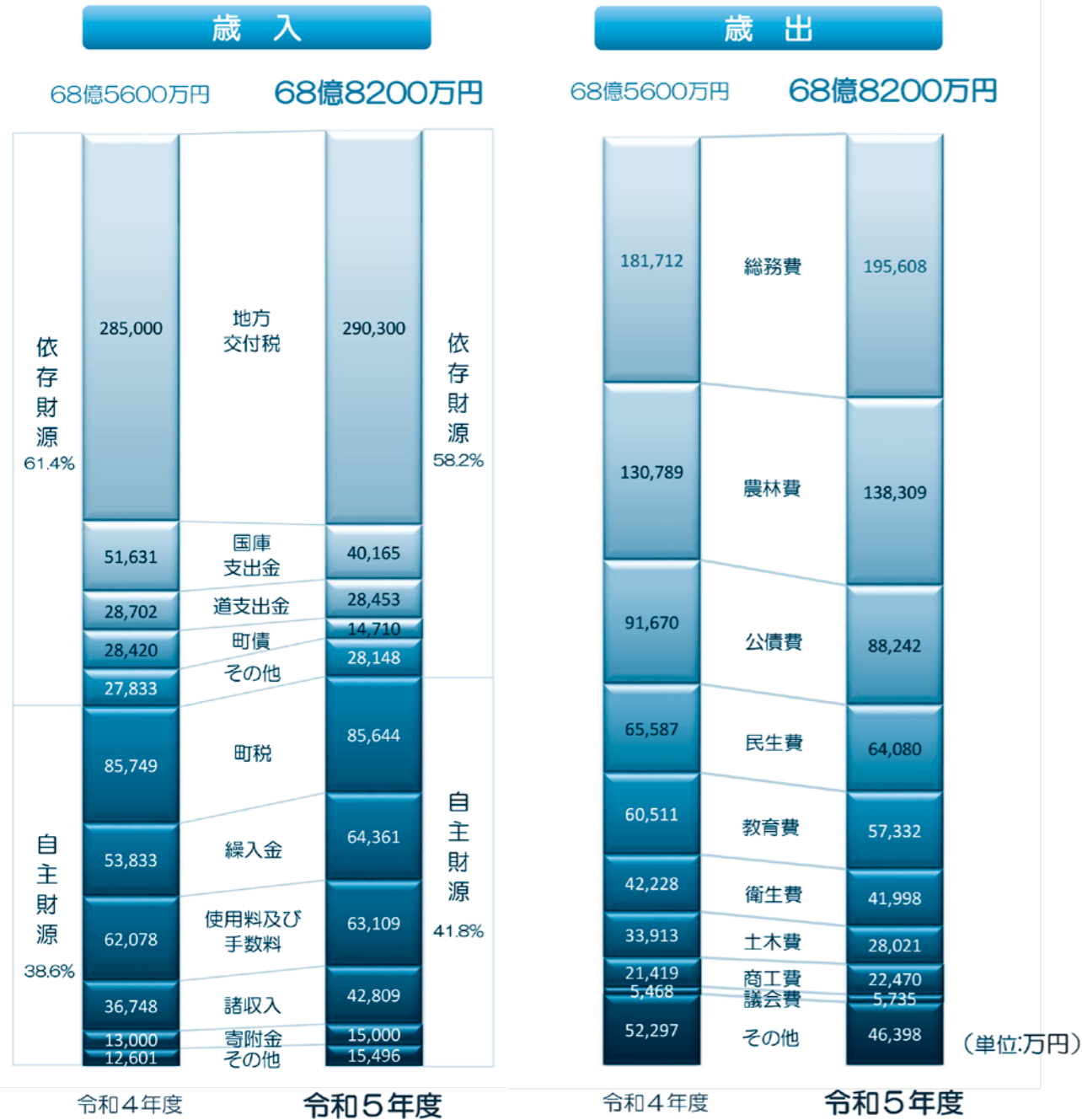
【E-mail】gikai@town.shikaoi.lg.jp

【URL】<https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■発行者 北海道鹿追町議会

2023年4月

一般会計予算



※予算額は1万円未満切り捨て。
 ※各科目ごとの金額及びパーセントの合計は、合計額及び100%と一致しない。
 ※正職員及び会計年度任用職員フルタイムの給与及び賃金は、総務費に含む。

会計区分	令和4年度(万円)	令和5年度(万円)	比較増減(万円)	対前年度比(%)	
一般会計	68億5600	68億8200	2600	100.4	
特別会計	国民健康保険	7億9946	7億6704	△3242	95.9
	病院事業	6億6520	6億4592	△1927	97.1
	簡易水道	2億1349	2億266	△1083	94.9
	下水道	2億6658	3億9830	1億3172	149.4
	介護保険	5億2764	5億1691	△1072	98.0
	後期高齢者医療	9808	1億257	448	104.6
合計	94億2647	95億1543	8895	100.9	

町の予算 令和5年度一般会計総額

68億8200万円スタート




3月6日の本会議初日 喜井町長が町政執行方針を述べる

令和5年度予算総額
前年度比0.4%増

○ゼロカーボンシテイ関連事業を実施
 3月定例議会 3月6日から17日まで開催

令和5年度各会計予算は、3月定例議会初日の6日に提案があり、特別委員会（加納茂委員長）に付託され、3月14日に審査が行われた。
 令和5年4月の統一地方選挙により骨格予算となったが、全体で令和4年度より0.4%増加となった。
 一般会計は68億8200万円、特別会計は26億3343万円、総額95億1543万円で、令和4年度当初予算と比較して一般会計は2600万円増（前年度比0.4%増）となった（1万円未満切り捨て、以下同じ）。
 一般会計の主な歳入は、町税8億5644万円（前年度比0.1%減）、地方交付税29億300万円（前年度比1.9%増）、国・道支出金6億8619万円（前年度比14.5%減）、繰入金6億4361万円（前年度比19.6%増）を計上した。
 主な歳出では、福祉相談支援等を行う重層的支援体制整備2536万円、役場周辺エリアZEC化事業7292万円、鹿追高校生への通学費等支援2281万円、地域のつながり活動助成金250万円、東京都台東区等との交流を行う国内交流推進協議会補助金411万円。
 7月9日開催予定の防災・防火フェスティバル2023（仮称）で99万円、国際バカロレア候補校負担金等（鹿追中・瓜幕中）400万円を計上した。

令和5年度当初予算案は、統一地方選挙のため骨格編成となっているが、継続事業や緊急性の高い事業は原則予算化した。
 コロナ禍の長期化、原油や穀物等の国際価格上昇により物価が高騰し、地域経済へ影響を及ぼし続けている。
 不安定な社会情勢にあっても、町民が安心して暮らせるまちづくりを推進し、持続可能な行政サービスの提供ができるよう、デジタル技術の積極的な導入を進めていく。
 健全財政を維持し、限られた財源で町民の幸せのため努力していく。
 （抜すい・要約）



町政執行方針

喜井 知己 町長

酪農・畜産経営の

安定等を求める請願を採択

3月定例議会において、請願1件、新規条例3件、条例改正12件、各会計補正予算等9件を原案どおり可決した。

令和4年度一般会計補正予算は、585万円を減額し、78億3388万円とした。

議決事項

条例改正

新規条例

- 個人情報保護法施行条例
- 個人情報保護審査会条例
- 議会の個人情報の保護に関する条例
- 個人情報保護制度は、社会のデジタル化に対応した個人情報保護と、データ流通の両立が要請される中、法律により全国的な共通ルールとした。自治体や議会は、条例で保護措置等を定めることとなった。
- 報酬及び費用弁償支給条例
- 農業委員、教育委員、代表監査委員の報酬について、業務量の増加等により、約10%を引き上げた。
- 定住促進住宅建設奨励に関する条例
- 貸付住宅建設促進事業助成に関する条例
- 民間賃貸住宅家賃助成に関する条例
- 各条例の有効期間を、令和6年3月31日に延長した。
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例

- 子ども園条例
- 認定子ども園条例
- 児童福祉法の改正により、対応条項等を変更した。
- 家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例
- 園児のバス送迎にあたり、安全管理の徹底及び安全計画策定等の規定を追加した。
- 国民健康保険条例

法改正により、出産育児一時金の支給額を40万8千円から48万8千円に引き上げた。

また、産科医療補償制度に加入する病院等で出産した場合、補償制度の掛金1万2千円が加算され、50万円に引き上げた。

○重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費助成に関する条例

○子ども医療費の助成に関する条例

主な補正予算

〔一般会計〕

子ども家庭庁設置法施行により、対応条項を変更した。



ライディングパーク

施してもらえればと考える。

〔一般会計補正予算〕

〔山口議員〕

Q 役場周辺エリアZEC化事業で、3年間に係る委託料を3千万円減額しているが、随意契約から指名競争入札に変更したことにより減額されたのか。

A 予定価格は参考見積等から設定した。

Q 地域つながり活動助成金について、令和4年度より3千万円低い金額で落札された。

A 8行政区で合計50万円の見込みである。

Q ライディングパークで修学旅行の高校生が2年連続で人間ばん馬を行なっているが、令和5年度も行うのか。

A 人気のあるイベントであり、事業者が引き続き実施する基準を定める条例

〔介護保険特別会計〕

- 役場庁舎ほか暖房用・公用車燃料費 867万円
- 役場庁舎ほか暖房用・公用車燃料費 673万円
- 電気料金及び燃料費の高騰により増額した。
- 除雪業務委託料 1千万円
- 令和4年度予算合計は6223万円となる。
- 健康温水プール修繕料 253万円
- 空調設備、天井等の修理を行う。
- 施設介護サービス給付費 1100万円
- コロナ禍で短期入所療養介護(ショートステイ)中止の代替として、入所サービスに切り替えたことによる不足分を増額した。
- 令和4年度予算合計は2億8788万円となる。
- 居宅介護サービス計画給付費 121万円
- 居宅サービス利用者増により、ケアプラン作成費用が不足することから増額した。
- 令和4年度予算合計は1405万円となる。

健康温水プール 役場周辺エリアZEC化事業でCO₂排出実質ゼロを目指す



健康温水プール 役場周辺エリアZEC化事業でCO₂排出実質ゼロを目指す

〔後期高齢者医療特別会計〕

- 後期高齢者医療広域連合納付金 273万円
- 後期高齢者医療保険料の普通徴収分が増加したことに伴い、後期高齢者医療広域連合への納付金を支出する。
- 令和4年度予算合計は9734万円となる。

〔簡易水道特別会計〕

- 光熱水費 230万円
- 電気料高騰により増額した。
- 令和4年度予算合計は2080万円となる。

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

〔1〕地方創生と人口減少問題

埼玉県飯能市では、人口対策として移住者に有利な支援策とコミュニティ形成に重点をおいた政策を展開していた。

埼玉県横瀬町では、高齢化よりも少子化を深刻な課題とし、住民のためになる事業の提案を受け、採択する。

事業者は自治体に認定されることで融資にもつながり、メリットが大きい。

民間活力を町の活性化に上げる方法は、参考になった。

〔2〕幼・小・中・高教育問題

本町の教育は、幼児から学べる一貫教育システムを平成15年度に文科省研究開発校の指定を受け推進してきた。現在は学校規模適正化について検討を行っている。

また、鹿追高校存続のため、支援をどこまで拡大させるのかも含め、本町教育ビジョンの明確化と町民理解を求める必要がある。

〔3〕公共施設の整備・利用

埼玉県三芳町では、古い公共施設がどうあるべきか各部署が横断的に捉え、住民と合意形成を図っている。

本町では公共施設等総合管理計画を平成28年に策定したが、施設の必要性も含め住民と対話し、実行及び個別計画等を明確にし整備する必要がある。

〔4〕その他

北見市役所において、「書かないワンストップ窓口」を視察した。

窓口対応の効率化と職員の業務量を減らしていくために、常に問題意識を持ち、改善を検討する必要がある。

主な繰越明許

- 定住促進住宅建設奨励事業 360万円
- 住宅用太陽光発電システム導入費補助事業 40万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 858万円
- 道営土地改良事業 3631万円

農業集落排水処理施設更新事業

令和4年度予算から5年度予算へ繰り越した。

令和5年度に繰り越される金額は、全会計で5039万円となる。

主な質疑

〔行政説明〕

〔台蔵議員〕

Q ライディングパークで修学旅行の高校生が2年連続で人間ばん馬を行なっているが、令和5年度も行うのか。

A 人気のあるイベントであり、事業者が引き続き実施する基準を定める条例

Q ライディングパークで修学旅行の高校生が2年連続で人間ばん馬を行なっているが、令和5年度も行うのか。

A 人気のあるイベントであり、事業者が引き続き実施する基準を定める条例

Q 地域つながり活動助成金について、令和4年度より3千万円低い金額で落札された。

A 8行政区で合計50万円の見込みである。



北見市役所の書かないワンストップ窓口 (R4.10.5)

産業厚生常任委員会

(1) 農業振興策による人口減少対策

本町の令和4年度農業生産額は237億円の一方、農家約200戸のうち60数戸は後継者がおらず、将来は農家戸数及び農業者人口減少が想定される。本町では従来、離農地を既存農家が規模拡大のため取得し、余剰農地はなかったが、今後も既存農家が土地取得できるのか、町外法人等が参入するの未知数である。新規就農者を受け入れる体



町営牧場の育成舎 冬季及び夏季も利用

制づくりと、農業者との対話や、町の情報一元化、北海道、北海道農業公社やJA鹿追町等、関係機関との連携が有効と考え

(2) 観光振興

本町観光の要である然別湖では、民間ホテルが1軒休業中であり、再建等を関係機関が協力し実現する必要がある。とかち鹿追ジオパークは、本町観光の一翼を担っている。サイクルーツリズムは、「トカチ400」がナショナルサイクルートに指定された。町内に地域ルートを設定することで誘客が期待される。

道の駅は、近隣町で大型施設がオープンしたが、膨大な建設費であり、その効果を検証し、十分な議論・検討が必要である。(3) バイオマスエネルギー利用と特産品開発

町内2カ所のバイオガスパラントで家畜ふん尿処理等がされている。中鹿追バイオガスパラントでは、水素製造やプロパンガス精製の実証実験等、新しい資源構築に大きく寄与している。余剰熱利用によるマンゴー・

町民ホール・トリムセンター等の脱炭素を推進



町民ホール CO2排出量実質ゼロを目指し改修を計画

平成29年度から令和4年度まで実施してきた本事業を、令和6年度まで延長する。従来の対象事業7項目に行政区の未加入者へ勧誘活動を追加する。助成額は勧誘世帯1戸あたり500円で、年3回までとする。また、1行政区あたりの助成限度額は、基本額を10万円から5万円とし、1戸あたり2千円の戸数分を加えた金額までとする。全体事業費は250万円。

地域のつながり 活動助成を延長

広報広聴常任委員会

広報部会では、年4回の議会日より(143~157号)、年4回のミニ広報(62~77号)を発行した。わかりやすく親しみやすい広報紙を目指し、部会員が一丸で編集にあたった。広聴部会では、まちなか会議「議会報告会・広聴会」「議員とカフェでひとこと」「各団体との懇談会」を全委員で実施した。新型コロナウィルス感染症拡大による中止や、参加者減少もあった。まちなか会議は、住民と議員が意見交換する場で重要であり、議会への関心を高めることや、町の政策に反映させるきっかけとなっている。

議会運営委員会

北海道町村議会議長会(札幌市)で研修を行なった。



議会報告会・広聴会(R5.1.25、瓜幕会場) コロナ禍等で参加者が減少

議員のなり手不足が地方議会の深刻な課題となっており、平成31年の統一地方選挙では無投票当選した割合は、町村議会でも無投票となった。その要因の一つとして、若者や女性が議員として参画しにくい環境がある。また、議員の存在感が薄れてきていることは否めない。議員報酬が低水準で退職金や年金もないことや、家族からの理解が得られにくい等、議員になることに興味がなくなっている。

今後の取り組みとしては、各世代が議会へ参画しやすくするための方策を構築していくため、会議時間の工夫や、育児、介護等への配慮も必要である。また、議員報酬の水準についても考えていかなければならない。

本町において、平成31年の議員選挙が無投票となったことを受け、令和5年の統一地方選挙の動向を踏まえ、今後の議員定数について議論を進めていく必要がある。

鹿追小学校の大型遊具を更新

鹿追小学校の大型木製遊具は、平成2年度に設置され、これまで多くの児童に利用されてきた。設置から32年が経過し、老朽化により一部に危険な箇所が見受けられたことから、令和4年度で使用中止としていたが、令和5年度に新たな遊具を設置する。

全体事業費は1604万円。また、鹿追小学校体育館の吊り天井に耐震化工事を行う。事業費は6800万円。



使用停止中の木製遊具 撤去後に新たな大型遊具を設置予定

クローズアップ 2023

誰でも相談できる 重層的支援体制を整備

子ども、障がい者、高齢者、生活困窮者の相談支援等について、それぞれの分野で行なっていたが、今後は一体化して支援体制を確立する。

具体的には「相談支援包括化推進員」を配置し、多機関の協働・訪問支援や、引きこもり等に対応した長期的な支援を行う。

社会福祉協議会へ専門職員を配置して実施する。全体事業費は2536万円。

令和4年4月に国の「脱炭素先行地域」に選定され、さまざまな部門での脱炭素化を促進するため、町民ホール、トリムセンター、スポーツセンター等、公共施設の暖房設備等を二酸化炭素排出を実質ゼロにするため改修等を進める。令和5年度は4年度に引き続き実施設計を行い、令和6年度末までの改修を予定している。全体事業費は7292万円。



助成金を活用し生活講座(上幌内行政区)

町内外から鹿追高校へ通学する家庭の教育費負担を軽減するため、入学準備、通学費、修学旅行、寮費及びみらい留学サポート(ホームステイ)運営を助成する。入学準備金は、一人10万円(町外5万円)、修学旅行助成一入3万円、通学費助成は町内一人1万円まで、町外はバス代を全額助成する。また、鹿高みらい留学サポート事業として、生徒をホームステイとして受け入れた家庭に対し、月額6万円と受け入れ準備の助成として最大20万円を支給する。全体事業費は6092万円。



鹿追高校

4人の議員が問う。

3月13日、3月定例議会一般質問で、4議員が登壇した。
※各議員の顔写真は事前撮影したものです。

人口減少

Q 人口増減問題の検証は
A 定住・関係人口の拡大に取り組み



久雄 議員

行っている。
十勝管内平均年齢は51・6歳、本町は47・9歳で一番若い町である。

(質問) 人口減少の実態は。

(答弁) 喜井町長

令和2年の国勢調査では人口は5266人で、前回と比較して5%、276人減である。15歳未満94人、15歳未満で245人減少している。
一方、65歳以上は63人増加し、少子高齢化が進

(質問) 今後の予想人口は。

(答弁) 喜井町長

国の直近の推計では、令和12年は4910人となる。
平成22年の将来推計は4759人で、151人増加し減少幅が緩やかになっている。

(質問) 人口増のための事業は。

(答弁) 喜井町長
定住促進対策で住宅建設促進・家賃助成、子育て支援で乳幼児等医療費助成、保育料及び給食費無償等を実施している。
また、山村留学、駐屯地維持拡充運動等に努めている。

(質問) 毎年40人前後の減少が見込まれる。地域おこし協力隊員の増や、農業中心の産業育成、漬物やさつまいも等、さまざまな加工品づくりで産業を興してほしい。

(答弁) 喜井町長
機会を通じて、広く町民から意見を聞きとりながら進めたい。



人口及び世帯数 戸籍窓口に表示

国際交流

Q 中断している姉妹都市交流の再開は
A 4月に再開する



正雄 議員

相互交流の目的で整備されたため、公営住宅としては利用できない制約はあるのか。
(答弁) 喜井町長
平成26年に地域づくり総合交付金を活用し、移住希望者やストニイプレイン町からの滞在者受け入れを目的に整備した施設であり、公営住宅としては利用していない。
令和元年までストニイプレイン町からの長期滞在者15組が利用し、多くの町民と交流した。

(質問) 今後の国際交流の進め方や、相互交流事業が再開される見通しは。

(答弁) 喜井町長

今後の交流事業計画は、4月からSSハウスを活用した長期滞在体験、7月に交換留学生・友好訪問団、10月以降は新たな友好訪問団の受け入れを予定しており、可能な限り対面での交流で両町の友好関係を築きたい。



SSハウス ドナ・コーワン元町長が5月15日まで滞在予定

(質問) インターネット環境の整備により、地方でのリモートワークやワーケーションによるライフスタイルが注目されている。SSハウスを町の情報発信ができるタウンオフィス施設としては。
(答弁) 喜井町長
地域と深い関わりを持つ関係人口の創出を目的に、ワーケーションを推進している。
SSハウスは、当初の目的に沿った利用が適切だが、移住につながる活用方法も検討したい。

学校給食

Q 学校給食の食材高騰における町の対応は
A 食材費5%値上げで対応する



優子 議員

(質問) 物価高騰の中、必要な栄養価の基準を満たしながら栄養教諭の工夫でやりくりしているが、価格高騰への対応は。
価格高騰でパンやデザートが給食メニューから減っており、農業振興

や地産地消のためにも小麦や乳製品を学校給食で買い取り、農業を支えることを提案する。
(答弁) 喜井町長
新型コロナウイルス感染症拡大から食材価格が高騰し、調整せざるを得ない状況である。令和5年度予算は1食当たり単価を5%増額した。
本町の給食単価は十勝管内平均を上回っており、地場産品を拡充使用したい。

これまでも牛乳券の配布等で消費を下支えしてきた。今後は町内で生産された加工品を中心に活用したい。
(質問) 献立を工夫した節約レシピで乗り切るのはなく、予算をつけて成長期の子供に十分な栄養を摂取してほしい。デザートが令和2年度は月平均3回あったが、令和3・4年度は月平均2回に減少している。5%の予算増額

では足りないのでは。
(答弁) 宇井学校教育課長
5%分は、以前の献立の再現ではなく、実勢価格を見ながら、地元産食材を使用し、栄養計算して使っていく。



回転釜で調理中(ジャージャー麺)

(質問) 地元農作物を給食メニューに使えば地元への愛着を育み、生産者の顔が見える取り組み等は食べ残し軽減にもつながる。先生を含め600人強で買ひ支え、農業を支援できるのでは。
(答弁) 喜井町長
地場産品やデザート等も増やせるよう、必要な予算を確保していく。

教育

Q 本町の町政運営の根源をなすものは何か
A 鹿追中・瓜幕中で国際バカロレア認定を目指す



洋 議員

(質問) 幼小中高一貫教育と山村留学制度をベースに、これからのまちづくり新しい価値観の創造が必要であることを論点に質問する。
子供たちに招来するであろう知識は、グローバ

ルスタンダードレベルが求められることが必至である。
本町の教育行政には「まちづくり」の絶対的根源となり得ると考えるか。
(答弁) 喜井町長
本町では、まちづくりに教育が極めて深く関わっている。教育行政は地域や社会に必要な人材を育成できるものである。まちづくりに教育の果たす役割は大きい。
どのような教育が最適なか、教育が根底にあるまちづくりを一層進める。
(答弁) 渡辺教育長
本町においても、教育のグローバル化で国際的なコミュニケーション能力向上は大変重要である。今後、学ぶ手法として、国際的な教育プログラムである国際バカロレアを、まず鹿追中学校及び瓜幕中学校の認定に向けて準備を考えている。



瓜幕中 山村留学の拠点に加えて国際バカロレア認定校を目指す

(質問) 鹿追町全体のまちづくりで、新しい価値観の創造として町ぐるみの計画を策定し、高校の国際バカロレアの認定も含め施策を実施しては。
(答弁) 喜井町長
教育が鹿追のまちづくりに貢献できるということは、北海道にも貢献できるとある。北海道教育委員会にも提案したい。

つづやき ■映画「おしゃべりな写真館」の撮影が終わりました。上映が楽しみです。写真館のオープンセットをどこかに残したいですね！

The 予算・質疑 (その2)

The 予算・質疑 (その1)

3月14日に開催された予算審査特別委員会（加納 茂 委員長）で、令和5年度の予算を審査した結果、すべて原案どおり全員賛成で可決した。

教育費

映画「おしゃべりな写真館」の上映

Q 鹿追町を舞台とした映画「おしゃべりな写真館」のロケが終了した。完成の際、上映会を開催しては。

A 上映会ができるよう支援・協力したい。



おしゃべりな写真館のロケセット

消防費

画像通報システム

Q 火事等の通報を画像や映像で転送できるシステム導入は。



消防出初式 (R5.1.6)

A とかち広域消防事務組合の通信機器更新を令和7年度に予定しており、対応についてとかち広域消防事務組合へ伝える。

商工費

サイクルツーリズム



カパチャレ 2022 (然別湖 白樺峠 ヒルクライムチャレンジ、R4.6.25)

Q 継続事業と記載されているが、どのような事業を行なったのか。令和5年度は予算計上されていないが、事業展開は。

A 地域ルート候補7ルートのうち2ルートを申請した。イベント開催等をサイクルツーリズム協議会と協議し、必要な予算計上する。

民生費

成年後見支援センター事業

Q 成年後見支援センター事業を社会福祉協議会へ委託するが、社会福祉士の配置は。

A 令和4年12月から募集しているが応募がない。人材が確保できるまでは派遣職員が対応する。



社会福祉協議会 令和4年度から町職員2人を派遣中

総務費

地域おこし協力隊

Q 協力隊員のネットワークづくりが重要である。地域おこし協力隊はどこに配属されるのか。



国際交流センター平成館

A 協力隊員は平成館、マンゴー栽培、高校全国募集支援、国際バカロレア支援、部活動支援、バイオガスプラントへ各1人で計6人が配属となる。

総務費

キャッシュレス納税



固定資産税と軽自動車税がスマートフォンで納税可能に

Q QRコードによるキャッシュレス納税は。

A 令和5年度の固定資産税及び軽自動車税で、クレジットカード、口座振替、スマートフォン決済アプリで納税可能になる予定。

総括質疑

ゼロカーボン推進

Q FCEV (燃料電池) トラクター導入は。牛のげっぶに含まれるメタン削減にトップランナーとして取り組んでは。

A FCEVトラクター実証実験を町内での実施について関係機関と協議したい。町内に約3万頭の牛がおり、情報交換及び試験研究等を検討したい。



瓜幕バイオガスプラント

病院会計

病院経営強化プラン

Q 入院・外来人数が予算書と病院経営強化プランで異なるが、整合性は。



国民健康保険病院

A 令和3年度の数で試算した。年1回の見直しで修正したい。病院経営強化プランは国のガイドラインに沿って作成し、これを中心に進めたい。

教育費

国際バカロレア



鹿追中 瓜幕中と共に認定校を目指す

Q 鹿追中及び瓜幕中へ導入検討とあるが、住民周知は。町財政や教員の負担が増えるのでは。

A 町ホームページ、広報紙で周知、生徒・保護者や先生へ理解を進める。候補校・認定校とも今後年間100数十万円の年会費と、教員の研修費が30~60万円かかる。先生の負担は増えるが、前向きに捉えている。

農林費

産業後継者対策

Q 01 農業塾生と産業研修生の人数は。産業研修生の手当を引き上げるべきでは。

A 01 農業塾生は7人、産業研修生は1人。産業研修生の研修手当は農家従業員とのバランスもあり、検討する。



ピュアモルトクラブハウス

農林費

次世代農業経営対策協議会

Q 農家減少対策を検討する次世代農業経営対策協議会を過去3回開催したが、今後の方向性は。



今後は農業の後継者不足が予想される

A 研修牧場や第三者継承の掘り起こしを検討する。地域の方の協力で進めていきたい。

総務費

廃屋解体助成



廃屋は適正に管理しましょう

Q 予算額が増額される理由と方針は。廃屋と空き家件数は。

A 有資格者によるアスベスト調査のため増額した。令和4年度の廃屋解体助成は11件477万円を予定。現在の廃屋は目視で20件台、空き家バンク登録は5件である。



株式会社 和ら美
すなが ひろゆき
プロデューサー 須永 裕之 さん



クランクアップ後に瓜幕の皆さんと打ち上げ (R5.2.21)



映画「おしやべりな写真館」
撮影終了

令和4年7月から町内で撮影中の映画「おしやべりな写真館」の撮影が2月19日に無事終わりました。

終了後、ささえ隊や町の関係者が集まり、映画スタッフと慰労会を行いました。

21日には俳優の中原丈雄さんや、映画に出演した児童生徒の皆さんが瓜幕で集いました。

映画の完成は令和5年秋頃を予定しており、完成後に町内で上映会を検討中です。

健勝重建さんの倉庫に設置した写真館と、瓜幕の個人敷地に建てたオープンセットでの撮影が終わりました。

(取材・インタビュー 台蔵 征一)



初代第5戦車隊長 兼ねて
第33代鹿追駐屯地司令
みうら まさと
2等陸佐 三浦 成友さん



着任式における観閲行進 (R5.3.13)

初代第5戦車隊長が着任

令和5年3月13日付で、第5戦車隊長兼ねて鹿追駐屯地司令として三浦成友2等陸佐が着任しました。

三浦2佐は、札幌市出身で現在43歳です。

部隊歴は、平成7年に少年工科学校(武山)入学、平成11年3月から第72戦車連隊(北恵庭)配置となり、約15年間北海道勤務を経験しました。

今回、陸幕人教部(募集援護課計画係)から異動となり、奥さまと一緒に転入しました。

開町100年を越える鹿追町の歴史の中、鹿追駐屯地は66年を地域と共に歩んでまいりました。

(取材・インタビュー 清水 浩徳)

編集後記

自分たち議員は4年間の任期が終わります。コロナ禍でこの3年間ほどはかなり不自由な時期でした。

そんな中でも議会は活動していました。「しかおい議会だより」をいつも手に取っていただきありがとうございます。皆様のご協力に大変感謝しています。

小さくともキラリと光る町づくり、これからも皆で進めましょう。

議会広報部会 部会長 台蔵 征一

議会広報広聴常任委員会
広報部会

- 部会長 台蔵 征一
- 副部会長 清水 浩徳
- 部会員 吉田 稔
- 川染 洋
- 山口 優子